

# 東日本大震災対応状況の御報告

2011年4月18日 コープさが生活協同組合

## 現地支援派遣をしていた二人の職員が無事帰任しました。

震災で大きな被害を受けたみやぎ生協を支援するために、総務部牧職員と事業支援グループ浦川職員の2名を派遣しましたが、無事帰任しました。二人は3月20日(日)に佐賀をたつて、北陸ルートで仙台に入り、23日(水)から30日(水)の約1週間、みやぎ生協の仙台市「南小泉店」の店舗再開作業の支援活動に参加しました。お届けした灯油や水などの支援物資も多に役立ったとのこと。4月8日(金)の理事協議会で、簡単な報告会を行いました。

震災後14日目ようやく店内に入れるまで復旧しました。連日少ない入荷の商品もとめて開店前の行列ができました。ガソリン、灯油不足も深刻でした。



## 組合員の緊急支援募金は3週間で445万円、職員募金も12万円、合計457万円もの募金が集まりました。

無店舗事業のOCR注文書で3週間呼びかけた組合員への支援募金は4,443,300円、大町・高砂店での募金箱への募金19,990円、職員募金が117,742円、合計で4,581,032円の募金が集まりました。コープさがはすでに先行して50万円の緊急募金を送金していますが、残りも日生協を通じて被災地の支援・復興に役立ててもらおうよう送金します。なお、OCR注文書の募金番号「378470」は引き続き有効です。その他、今後開催する生協の様々なイベントでは、募金箱を設置して、継続して募金もうったえる予定です。引き続きご協力下さい。

## 対策本部は一旦解消しますが、引き続き可能な支援活動を継続します。

1. 日本生協連の現地支援は一旦収束しました。それに伴って、コープさがの対策本部も解散しますが、今後も、以下のような支援を継続していきます。
  - (1) 引き続き可能な形態で、支援募金をうったえます。
  - (2) 日本生協連の呼びかけに応じて、現地被災生協の復興を支援するコープさがとしての支援募金に協力します。
  - (3) 「東日本大震災支援全国ネットワーク」に参加し、組合員ボランティアの募集や、情報提供、現地との橋渡しを行います。
2. さらに、次のような支援ができないか検討し、可能な部分から実施していきます。
  - (1) コープ九州を通じて、被災地の商品や生産者、メーカーを支援する商品企画を実施
  - (2) 商品の利用などを通じて、息ながく募金を継続する方法の検討
  - (3) 被災者の方々が、一定期間経過して以降必要となる物品の支援を組合員参加で実施することの検討

## 4月3週から、毎日お配りしていた欠品チラシがなくなり、代替商品等で確実に商品がお届けできるようにしていきます。

1. 被災による農地や工場の損壊、人員の不足、原料や包材の不足等で、商品の欠品や企画中止が発生し、3月後半だけで600万円を超える供給マイナスが発生しました。
2. これまで、欠品や企画中止となる商品の増加、変更が多数発生したため、毎日手配りのご案内になり、組合員の皆様にご迷惑をおかけすることになりました。
3. コープ九州で、代替商品の確保等を進め、4月3週(18日)からはほぼ計画にそった商品の提供が可能となりました。なお、今後のいくつかの商品で変更がありますが、ご理解と御協力をお願いします。